

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	化学療法による中皮腫細胞の形態変化の特徴 [倫理審査受付番号：第 5067 号]
研究責任者氏名 研究機関長名	大江 知里 兵庫医科大学長 鈴木敬一郎
研究期間	2025 年 6 月 22 日 ~ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：悪性中皮腫、肺悪性腫瘍 診療科名等：呼吸器外科、呼吸器内科、上部消化管外科、病理診断科
	受診日：西暦 2010 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☒ 試料等（診療の過程で取得） ☒ カルテ情報（診療の過程で取得） ☐ アンケート ☐ その他（ ）
研究目的・意義	体腔液細胞診では、腫瘍細胞の有無を判断して組織型や原発巣を的確に推定をすることが重要であります。近年では化学療法の発展に伴って治療効果の判定を求められることも多くなっており、細胞診標本を用いて、細胞核の中に DNA とタンパク質が結合した構造で細胞周期や遺伝子発現に関与するクロマチンの変化、細胞質の変化等の評価を行います。その評価によって悪性中皮腫における化学療法前後の細胞形態学的変化が分かり、将来的に細胞診断での治療効果判定を行う一助となります。
研究の方法	当院で悪性中皮腫と診断された患者さんでカルテ情報にて年齢、性別、既往歴、化学療法を行っているか等の治療歴を収集します。その上で、1 回目に細胞診検体が提出・診断され、その後化学療法を行い、そのあとに再度細胞診検体が提出・診断されたものを適応症例と判断します。 その適応症例において、細胞核の中に DNA とタンパク質が結合した構造で細胞周期や遺伝子発現に関与するクロマチンの変化等を画像解析にて評価、また顕微鏡下での形態学的評価を行います。その結果より、化学療法前後の中皮腫細胞の形態学的変化が確認できます。

個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：病理診断科 担当者氏名：大江 知里 [電話] 平日 8：30～16：45：0798-45-6667 時間外：0798-45-6111（代表）